

令和7年度 第1回 高知支部評議会

令和6年度 支部保険者機能強化予算の 執行状況について

令和7年7月7日



全国健康保険協会 高知支部
協会けんぽ

目 次

支部保険者機能強化予算の概要	1
I) 医療費適正化対策経費（1～3）	2
II) 広報・意見発信経費（4～7）	3～4
III) 健診経費（8～14）	5～6
IV) 保健指導経費（15～22）	7～8
V) 重症化予防事業経費（23～25）	9
VI) コラボヘルス事業経費（26～28）	10
VII) その他の経費（29～30）	11

※カッコ内の数字は項番

支部保険者機能強化予算の概要

「予算体系」

協会の予算（業務経費等の事務費）は、ジェネリック医薬品の軽減額通知や健診費用の補助等の費用に充てる本部で扱う予算のほか、支部で扱う予算がある。この支部で扱う予算については、以下の3つに大別できる。

- ① 審査医師への謝金や支部事務室賃料など、支部の基本的な業務運営に必要な予算（基礎的業務関係予算）
- ② 医療費適正化対策や広報・意見発信など、地域の実情等を踏まえた取組みを推進するために必要な予算（医療費適正化等予算）
- ③ 受診勧奨対策や重症化予防対策など、保健事業における重点的な取組みを推進するために必要な予算（保健事業予算）

このうち、②及び③の予算については、「支部保険者機能強化予算」として、協会の将来的な医療費の節減につなげていくことを目的に、医療費適正化や健康づくり等の保険者機能を強化する取組みを実施する場合に予算計上する経費となる。

「特別枠」

- ・令和5年度から、保険者機能強化予算の取組に意欲的な支部に対し、通常の予算に追加して予算措置を行う「特別枠」制度が新たに創設された。
- ・これまでの取組等を通じて洗い出された課題など、エビデンスを踏まえた支部の課題解決に向けた取組であり、かつ医療費適正化または加入者の健康増進に資する取組を対象とする。

予算区分		分野	項番	令和6年度 高知支部予算額	令和6年度 高知支部執行額
支部医療費適正化等予算	医療費適正化対策や広報・意見発信など、地域の実情等を踏まえた取組みを推進するために必要な経費	I) 医療費適正化対策経費	1～3	9,145 千円	8,904 千円
		II) 広報・意見発信経費	4～7		
支部保健事業予算	受診勧奨対策や重症化予防対策など、保健事業における重点的な取組みを推進するために必要な経費	III) 健診経費	8～14	26,475 千円	20,875 千円
		IV) 保健指導経費	15～22		
		V) 重症化予防事業経費	23～25		
		VI) コラボヘルス事業経費	26～28		
		VII) その他の経費	29～30		

令和6年度 高知支部 医療費適正等予算

I) 医療費適正化対策経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
1	継続	【企画総務G】 若年層のいる家庭に対する医療費適正化啓発	自治体などと連携して子供を持つ家庭に対し、ジェネリック医薬品や医療費に関する内容を含む総合的なパンフレットを送付する。このことにより、ジェネリック医薬品の啓発や使用促進等を通じて医療費適正化に繋げる。なお、令和5年度も自治体や関係団体と協同で事業を進めている。	高知市役所と連携し、高知市内全小中学校へ上手な医療のかかり方についてのチラシを夏休み前に送付。生徒を通じて若年層のいる家庭へ情報発信した。 ※予算流用対応	1,100 千円	1,148 千円
2	継続	【企画総務G】 見える化ツール※発送用封筒の作製 ※医療機関・薬局施設ごとにジェネリック医薬品使用割合などを「見える化」したツール	医療機関や調剤薬局へ「見える化ツール」を送付する際、目につきやすい専用封筒を使用することにより、重要な書類であると認識してもらうとともに、確実に目を通していただくことにより、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。	ジェネリック医薬品への切り替えを促すため、本部提供見える化ツールで作成したジェネリックカルテを、高知県内医療機関・薬局に提供（227件）する際に、重要な書類であると認識してもらい確実に目を通していただく為に、目につきやすい封筒を作成して使用した。	176 千円	141 千円
3	継続	【企画総務G】 お薬手帳ファイルの配付	お薬手帳ファイルを作成し、調剤薬局を通じて加入者に配付することで、ジェネリック医薬品の啓発や使用促進を図る。なお、ジェネリックを活用した取り組みを継続することによって、ジェネリック医薬品＝くまといったイメージの浸透を目指す。	県内の薬局を通じて、ジェネリック医薬品使用促進の文言を記載したお薬手帳ファイルを加入者へ配布することで、加入者への直接的な働きかけが可能となりジェネリック医薬品の使用促進に寄与したものと考えられる。	1,617 千円	1,595 千円
I) 医療費適正化対策経費合計（項番1～3）					2,893 千円	2,884 千円

令和6年度 高知支部 医療費適正等予算

Ⅱ) 広報・意見発信経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
4	継続	【企画総務G】 ジェネリック医薬品の使用促進に向けた広報	高知支部におけるジェネリック医薬品使用割合は78.7%（令和5年7月診療分）と低迷しており、まずは目標値の80%に到達する必要がある。このため、テレビやラジオ、Web系など、あらゆるメディアを活用した広報を行うことにより、幅広い年齢層にジェネリック医薬品の正しい知識の啓発を行い、使用促進を図る。	ジェネリック医薬品利用促進の特設サイトおよび動画CMを活用し、マルチメディア、新聞広告、街頭のデジタルサイネージを通じて広報を展開した。さらに、納入告知書同封チラシ、メールマガジン、LINE配信なども活用し、特設サイトへの誘導を行った。	2,990 千円	2,973 千円
5	継続	【企画総務G】 上手な医療のかかり方に関する啓発	入院の一人当たり医療費が、全国第5位と全国平均を大きく上回っている。また、要治療者の医療機関受診率も低い。そのため、早期受診・早期治療、かかりつけ医の活用など「上手な医療のかかり方」について、マスメディアを使用した周知広報により、加入者を含む県民に対し、知識の啓発をおこなう。	ジェネリック医薬品利用促進の特設サイトに上手な医療のかかり方の記事も追加した。さらに動画CMを作成し、TV放送、YouTube、新聞広告、街頭のデジタルサイネージを通じて広報を展開した。ジェネリック医薬品の広報と同様に、納入告知同封チラシ等でも特設サイトへの誘導を行った。	1,254 千円	1,194 千円

令和6年度 高知支部 医療費適正等予算

Ⅱ) 広報・意見発信経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
6	継続	【企画総務G】 経済団体の会報誌を利用したインセンティブ制度の普及促進広報	インセンティブ制度の実績において、高知支部は全国47位と低迷しており、大きく巻き返しを図る必要がある。 そこで、事業主が目にする経済団体の会報誌にチラシを同封することで、健診や特定保健指導、要治療者の医療機関受診等、各評価指標の今後の取り組み強化に繋げる。	高知商工会議所会報 令和6年5月号 チラシ同封@55,000円×1回 インセンティブ制度周知広報用チラシの作成@123,000×1式	247 千円	178 千円
7	継続	【企画総務G】 納入告知書同封チラシの作成	加入事業所に対する健康保険事業の周知	2月を除き、11か月分作成 (2月号は保険料率広報のため、本部が一括で作成)	1,761 千円	1,675 千円
Ⅱ) 広報・意見発信経費合計 (項番4～7)					6,252 千円	6,020 千円

令和6年度 高知支部 保健事業予算

Ⅲ) 健診経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
8	継続	【保健G】 事業者健診の結果データの取得（健診実施機関による委任状取得の委託費）	健診機関が事業主から委任（同意）状を取得し、健診データを健診機関が直接、協会けんぽへ提出する。	・委任状 4件取得	44 千円	9 千円
9	継続	【保健G】 事業者健診の結果データの取得（事業主等によるデータ作成に要する費用）	事業所・健診機関から事業者健診データを電子媒体で受けとり、その作成手数料を支払う。	・データ作成（支部払い）40件 （前年度比 ▲583件） ※本部払い移行により減少	77 千円	15 千円
10	継続	【保健G】 事業者健診データ同意書及びデータ取得の外注	外注業者から勧奨を実施し、同意書及びデータ取得件数を増やす。	・同意書 59件取得 （前年度比 +21件） ・データ取得 5,389件 （前年度比 +212件） ・データ作成 5,389件 （前年度比 +212件） ※データ取得拡大により予算流用対応	6,584 千円	6,819 千円
11	継続	【保健G】 特定健診集団健診の実施（10月～3月開催）	高知県内に居住する未受診者を対象とし、特定健診と各種がん検診を同時に実施できる健診実施機関に委託して実施。 健診内容を充実させ、受診者に魅力を感じてもらうことで受診率向上を図る。	・6地区、延べ22日程実施 ・受診者数 計 1,555名 （前年度比 -35名） ※受診者数の減少は自己負担額の増加（50円→490円）や被扶養者数の減少などが影響したと考えられる。	3,226 千円	2,722 千円

令和6年度 高知支部 保健事業予算

Ⅲ) 健診経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
12	継続	【保健G】 健診推進経費 (生活習慣病予防健診)	健診機関の目標を超過する受診者数 に応じた報奨金	・受診増減数 999件 ※4機関が上限に達したため支払い 対象数は793件	2,530 千円	872 千円
13	継続	【保健G】 令和7年度健診年次案内用受診勧奨 チラシ作製	支部独自の受診案内を作成し、年次 案内に同封する。	・生活習慣病予防健診 14,000部 ・特定健診 23,000部 ・共同利用（保健指導用）87,200部 ・共同利用追加チラシ 31,570部	1,260 千円	774 千円
14	継続	【保健G】 圧着リーフレット等を用いた健診の受診 勧奨	圧着リーフレットにより未受診者への受 診勧奨を実施する。	発送件数：13,200件（1月）	826 千円	450 千円
Ⅲ) 健診経費合計（項番8～14）					14,547 千円	11,661 千円

令和6年度 高知支部 保健事業予算

Ⅳ) 保健指導経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
15	継続	【保健G】 中間評価時の血液検査費	特定保健指導利用者の生活習慣改善意識の維持向上を図るとともに、特定保健指導における検査結果の活用を目的として、血液検査等検査を希望する特定保健指導利用者に対して実施する。	・検査数 345件 (前年度比 +46)	1,485 千円	1,139 千円
16	継続	【保健G】 医師謝金	保健指導に対して医学的な意見・助言を行う医師に対して支払う。	・保健指導推進にあたって助言あり	26 千円	10 千円
17	継続	【保健G】 保健指導用パンフレット作成等経費	特定保健指導対象者等へ生活習慣改善の啓発を行う。	・リーフレット等を購入	200 千円	200 千円
18	継続	【保健G】 保健指導用事務用品費（測定用機器類等）	特定保健指導対象者等へ生活習慣改善の啓発を行う。	・保健指導に使用する血圧計等を購入 ※予算流用対応	50 千円	61 千円
19	継続	【保健G】 保健指導用図書購入費	保健指導の効果的な実施方法等知識の習得を行う。	・ガイドラインや保健指導に関する書籍を購入	100 千円	60 千円

令和6年度 高知支部 保健事業予算

IV) 保健指導経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
20	継続	【保健G】 公民館等における特定保健指導	特定保健指導実施の際の会場賃借料	・特定保健指導の会場借用	60 千円	3 千円
21	継続	【保健G】 保健師募集広告経費（支部）	支部が行う契約保健師の求人については、各支部のホームページ等を通じて行っているが、求職者の情報取得の機会を拡充する。	未実施	50 千円	0 千円
22	継続	【保健G】 保健指導推進経費	特定保健指導実績に対する報奨金を支払う。	・対象保健指導件数 78件 ※契約保健指導実施機関のうち2機関が要件到達	418 千円	77 千円
IV) 保健指導経費合計（項番15～22）					2,389 千円	1,550 千円

令和6年度 高知支部 保健事業予算

V) 重症化予防事業経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
23	継続	【保健G】 未治療者受診勧奨	外部委託を活用した未治療者の受診勧奨	委託による文書勧奨：4,941件 委託による電話勧奨：10件 (7月～3月 一次・二次対象者)	3,152 千円	2,741 千円
24	継続	【保健G】 糖尿病性腎症患者の重症化予防対策	高知県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに則って実施。治療中でコントロール不良者などに医療機関と連携した重症化予防事業を行う。	未実施 ※実施体制整わず	1,620 千円	0 千円
25	継続	【保健G】 健診当日の医療機関受診勧奨	生活習慣病予防健診受診者のうち、 血圧・血糖が受診勧奨域（一次勧奨 値以上）で、未治療の者に対し健診 当日に受診勧奨を行う。	11機関と契約し、1,700人に受診勧 奨を実施。 ※年度途中で上限件数に達したため、 上限を引き上げて勧奨継続	2,013 千円	2,805 千円
V) 重症化予防事業経費合計（項番23～25）					6,785 千円	5,546 千円

令和6年度 高知支部 保健事業予算

VI) コラボヘルス事業経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
26	継続	【企画総務G】 「高知家」健康企業宣言パンフレットの作成	パンフレット等を活用し健康宣言の普及、参加事業所の拡大および基本モデルへの切替を図り、事業所と連携した健康づくりに取り組む。	事業所訪問時や研修会での宣言事業所勧奨の際などで、幅広く使用した。引き続き未宣言事業所に対し、より訴求できるような広報媒体にしていく工夫が必要。	160 千円	113 千円
27	継続	【企画総務G】 オンライン健康講座の開催	事業所において健康講座を実施することにより、加入者の健康意識醸成を図る。	健康宣言事業所を対象に、事業所カルテや問診票で洗い出された事業所の健康課題を解決するため、事業所担当者、支部保健師、支部担当者で協議の上、食事や運動、喫煙、飲酒など事業所の課題に適した講座を選定し、Web会議アプリ「Zoom」を使用したオンライン講座を実施した。	1,865 千円	1,496 千円
28	継続	【企画総務G】 健康づくりに関するメルマガでの情報発信	医師や専門家へ専門的見地に基づき医療・睡眠に関するコラムを執筆してもらい、メルマガを通して加入者へ情報を提供する。また支部ホームページにも、メルマガのバックナンバーとして掲載する。	・（上期）奇数月のメールマガジンに、「知って得するDr.川崎の気になる病気」としてコラムを掲載した。 ・（下期）睡眠専門家による「良質睡眠コラム」を毎月掲載した。	180 千円	150 千円
VI) コラボヘルス事業経費合計（項番26～28）					2,205 千円	1,759 千円

令和6年度 高知支部 保健事業予算

VII) その他の経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
29	継続	【保健G】 各種メディアを活用した糖尿病発症予防に関する広報の展開	各種メディアを活用し、糖尿病発症予防に関する集中的な広報を展開。	・高知県と連携して若年層から体重を増加させない生活習慣（食生活・運動習慣）を定着させるための広報を展開（R 5 に立ち上げた特設サイトを継続運用）	451 千円	341 千円
30	継続	【保健G】 保健事業計画に係るアドバイザー経費	保健事業の効果的な実施方法を検討・実行する上での有識アドバイスにかかる経費。	・データヘルス計画や糖尿病発症予防等の実施にあたり有識者と意見交換を実施	98 千円	18 千円
VII) その他の経費合計（項番29～30）					549 千円	359 千円